

学校部活動の地域連携及び地域クラブ活動への移行に向けた取組について

1 「君たちの声が聴きたい」ぐんま中高生のための部活動改革ワークショップ

令和6年7月13日(土)に、健康体育課、義務教育課、スポーツ振興課が連携してワークショップを開催し、部活動改革の主役である中学生・高校生から、自分たちにとってより良い地域スポーツ・文化芸術活動の在り方や環境等について意見を語ってもらった。

○参加した中学生(11名)・高校生(9名)からの意見

- ・「プロの指導者などに専門的に教えて欲しい」
- ・「エアコンなど充実した施設で活動したい」
- ・「他校と活動・交流したい」
- ・「活動に係る費用等を補助してもらいたい」等

2 市町村訪問

令和6年7月から9月にかけて、35市町村全てを訪問し、意見交換等を行った。今年度は、昨年度から配置している県総括コーディネーター(1名)に加え、新たに配置した県コーディネーター(5名)、健康体育課、義務教育課、スポーツ振興課、スポーツ協会等、複数の関係者とともに訪問した。

(1) 各市町村の状況

昨年度よりもできることをできる範囲で行い、地域の青少年達の活動を確保する努力を実施している地域が多くなっている状況が伺えた。

- ・推進計画等を策定し、コーディネーターを配置して推進している地域
- ・部活動指導員を活用した合同部活動方式または拠点校方式によって「部活動の地域連携」を進めている地域
- ・今後の持続可能な取組を踏まえ、参加費の額などを具体的に検討している地域 等

(2) 課題等

- ・スポーツ協会等地域団体の高齢化
- ・単独市町村で地域移行を行うことの困難さを感じている地域がある
- ・部活動の地域移行の本質が関係者や保護者等に正しく伝わっていない

<今後の県の取組予定>

- (1) 県の総括コーディネーターやコーディネーター、担当者を中心に、随時、市町村等の相談に対応する。
- (2) 保護者や地域住民、関係者向けに、シンポジウムやセミナーを開催したり、リーフレット等を作成したりし、部活動の地域連携及び地域移行についての理解を深められるようにする。
- (3) 国の動向を注視し、ワークショップや各市町村等の意見を参考にし、第2回群馬県地域クラブ活動体制整備検討委員会WG会議(令和6年12月19日)及び第2回群馬県地域クラブ活動体制整備検討委員会(令和7年2月6日)等での検討を踏まえ、本県における部活動改革を推進していく。